

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第2回所沢市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	平成29年2月15日(水)午前10時から午前11時30分
開 催 場 所	市役所6階604会議室
出 席 者 の 氏 名	・新井喜代子 ・宮寺敏雄 ・作野誠一 ・瀬野恵美子 ・綱木一 ・江黒直樹 ・國定勝義 ・傍島哲弥 ・高橋清史
欠 席 者 の 氏 名	・吉田和生 ・江田宏樹 ・田淵博
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1)協議事項 障害者スポーツについて (2)報告事項 第17回所沢市陸上競技選手権大会について 第27回所沢シティマラソン大会について (3)その他 平成28年度所沢市スポーツ大賞表彰式について
会 議 資 料	(1)平成28年度第2回所沢市スポーツ推進審議会 次第 (2)障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(「障害者差別解消法」) (3)障害者差別のないまちは誰もが暮らしやすいまち (4)障害者スポーツに関する全国調査の結果<抜粋> (5)所沢市の現状 (6)所沢市こどもと福祉の未来館 (7)第17回所沢市陸上競技選手権大会・第27回所沢シティマラソン大会
担 当 部 課 名	教育委員会 教育長 内藤隆行 教育総務部 部長 美甘寿規 次長 師岡林 スポーツ振興課 課長 海老沢康子 主幹 根本靖 副主幹 大野正和 主査 鈴木実 主査 海老澤容子 主任 鹿島弘美 主任 横村淳一 主任 小西優彦 教育総務部 スポーツ振興課 電話 04(2998)9248

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>午前 10 時、スポーツ振興課主幹により開会された。</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>第 1 回審議会に欠席した委員の自己紹介。</p>
事務局	<p>本日の出席委員は、12 名のうち 9 名であるため、会議は成立する。</p> <p>「所沢市の会議の公開に関する指針」に基づき公開ということでお知らせしているため、了承願いたい。傍聴者に対しては、公開部分の会議資料を配布する。</p> <p>（一同了承）</p>
事務局	<p>会議の報告方法については、要約方式で、発言者は単に“委員”と記載すること。会議記録の確定については、スポーツ推進審議会会長に諮り確定することとしたい。これでよろしいか。</p> <p>（一同了承）</p>
事務局	<p>会議の議長は、条例第 5 条の規定により、会長が議長となる。議長に会議の進行をお願いします。</p>
会長	<p>会長あいさつ</p>
会長	<p>傍聴者の確認をお願いします。（傍聴者なし）資料の確認をお願いしたい。</p>
事務局	<p>本日の趣旨について、本日の資料について説明した。</p>
会長	<p>今の説明について意見はあるか。</p>
委員	<p>（質疑なし）</p>
会長	<p>議事（1）協議事項について説明をお願いしたい。</p>
	<p><b>議事</b></p>
	<p>（1）協議事項 障害者スポーツについて</p>
	<p>「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）</p>
	<p>の概要について</p>
事務局	<p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律について、要点を説明した。</p>
会長	<p>今の説明について質問はあるか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>日頃、障害者の方と関わっており、その中に、所沢市民体育館のトレーニング室を利用している方もいる。特に使いにくいという話を聞いたことはなく、快適に利用していると聞いている。</p>
委員	<p>学校で働いている。学校は、バリアフリー化が進んでいる。階段等の段差は少なくなり、エレベーターが設置されている。数年前には、障害者用トイレも新設された。</p>
委員	<p>大学で働いている。障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されてから、条件整備を進めている。</p> <p>また、スポーツ基本法で「スポーツは権利である」と謳われて以来、権利侵害にならないような条件整備をしなければならないと言われている中で、ゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定されたことは、障害者スポーツにやさしいまちとして印象づけられたと感じている。</p> <p>教え子がウィルチェアラグビーをやっているが、車椅子を使った競技では、体育館の床面が傷つく恐れがあることから利用を禁止するケースがあり、権利侵害なのではないかと揉めることがあると聞いた。</p> <p>施設利用に関わるガイドラインなど障害者の利用を前提にしたルールを持っていることが大事だと思う。次期の計画に位置付ける、また、運用面でできることを考えていく必要がある。</p>
会長	<p>今、車椅子についての話が出たが、所沢市民体育館での運用はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>車椅子競技で利用したい旨の要望はあるが、床板のささくれ等の発生を防ぎ全国大会をはじめとした大規模大会実施を行うため、慎重な運用を行っている。供用開始前には、検証を行い、現在、市民体育館では、車椅子バドミントン等での利用がある。なお、障害者の教養、文化、体育等の活動を促進し、福祉の増進を図ることを目的とした施設である所沢サン・アビリティーズでは、競技の制限なく利用可能である。</p>
委員	<p>車椅子同士が衝突するため、転倒してしまい、床が傷づく、車椅子のタイヤの跡つくことが考えられるのではないかと。</p>
委員	<p>市民体育館のトレーニング室をよく利用しているが、その時の状況を話したい。障害者の方もよく見かけるが、視覚障害者の方は、ボランティアの方が2時間ずっと付き添っている。障害者の方が一人で回れるようになることは難しいかもしれないが、表示やルートの工夫等によってボランティアの方の負担も少なくなるのではないかと。また、負担が少なくなれば、ボランティアに参加しようという方も増えるのではないかと。車椅子の方は一人でまわっている様子が見受けられる。</p> <p>トレーニング室使用料の障害者減免について、障害者の方にそういった情報が伝わることでもっと利用が増えるのではないかと。</p>
委員	<p>屋内施設の話が中心になっていたが、屋外施設でも同様の問題が起こっている。事故により下半身不随となった友人がサッカーの指導者ライセンスを取得する際に、車椅子で芝（グラウンド）に入れるかどうかの問題になったことがある。その時は、車椅子で芝に入ることが認められたが、陸上競技場等屋外施設でも同様の問題が起こりうるのではないかと。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>世の中の多くの方は車椅子に慣れていないと感じる。昨年、デイサービスで働き始め、老人の車椅子利用者と行動を共にすることがあるが、車椅子利用者が近づいて来ると煙たい顔をされることがあり、別の世界に生きている人のように見ている人も多いと感じることがある。</p> <p>イベント等で、（スポーツ用の車椅子を含む）車椅子の紹介をするなど、車椅子に慣れるような取り組みを考えていくことが出来ると良いのではないかと感じた。こうした取り組みにより障害に対する理解を深めることができる。</p>
委員	<p>先日、所沢市レクリエーション協会で開催している合同講習会で障害者スポーツを紹介する企画を実施した。様々な競技の講習会を開催する中で、ボッチャを紹介し、多くの方が参加して、大変盛り上がった。障害者スポーツを広める取り組みとして、健常者に体験してもらうことは、興味を持つきっかけになると感じた。今後も続けていきたいと考えている。</p> <p>また、多機能トイレを健常者が利用することで、障害者の方が外で待っている状況を見かけることがあるが、利用に関するルールを決めた方が良いのではないかと感じている。</p>
会長	<p>トイレの問題については、体育館で対処しなければならない。</p>
委員	<p>小学校のゴールボール体験会に関わっているが、体験することによって、興味を持ち、それが障害に対する理解につながる。スポーツを通じて障害者を理解する取り組みが広まるのが大切であると感じた。</p>
委員	<p>条件整備の枠組みとして、ハードウェア・ソフトウェア・ヒューマンウェアの軸が考えられる。施設の問題、プログラムや教室の問題、指導者・ボランティアの問題などを同じ柱で考えていく必要がある。障害者のためという枠組みだけでなく、障害者と健常者が共に行える（共生）という枠組みで「障害者スポーツのまち所沢」をアピールできる計画ができれば良いと感じた。</p>
会長	<p>所沢には、素晴らしい施設がある。情報・魅力を発信していくために我々も努力していかなければいけない。</p> <p style="text-align: center;"><b>障害者スポーツの現状について</b></p> <p style="text-align: center;"><b>・全国の現状</b></p>
事務局	<p>全国調査の結果を抜粋した資料を基に、障害者スポーツの現状を説明した。</p>
会長	<p>今の説明について意見はあるか。</p>
委員	<p>最近、障害者スポーツに関わっている人が注目され、テレビ等でも目にする機会が増えたが、競技スポーツで活躍している方の多くは中途障害者であるように感じる。先天性に障害を持っている方は、どのようにスポーツに向き合っているのだろうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>幼い頃から障害を持っている方でも、大人になってからトレーニングをし、パラリンピックに出場している選手もいる。例えば、先天的な視覚障害者で見て学ぶことができない人は、学校で体の使い方等を教えてもらい、興味を持ってパラリンピックを目指す人もいないだろうか。</p> <p>現状として、2020年の東京パラリンピックに向けて、盲学校などの特別支援学校に各競技団体が声をかけ、選手育成に動いている。しかし、体ができていないという部分はあると思う。</p>
委員	<p>リオパラリンピックでは、日本選手の金メダルが0個だったと思うが、世界のレベルが上がってきているのか。国の取り組み姿勢に差が出てきたのか。</p>
委員	<p>アテネパラリンピックから選手の指導等に関わっている。アテネの頃はリハビリから競技スポーツに移行する時期であり、トレーニングすればメダルに手が届く時期であったと感じている。しかし、北京パラリンピックになると世界が変わり、障害者スポーツに力を入れる国が出てきた。ロンドン・リオと日本のレベルもあがっているが、それ以上に世界のレベルがあがっているのではないだろうか。</p> <p>東京パラリンピックに向けて、競技スポーツの環境づくりは課題である。</p>
委員	<p>障害のある子は、体育の授業でお客様扱いをされてきたのではないか。小学校等で幼い頃から競技を教えること、子どもに選択肢を与えることは必要だと思う。先天的に障害を持って生まれきた子どもは、スポーツを諦めてしまっている子が多いのではないか。走ること、泳ぐこと、パラリンピックに出ることだけがスポーツではなく、使える部分を動かして活動することがスポーツだと教えてあげることが重要であり、こうした経験が、将来のスポーツ実施につながるのではないだろうか。</p> <p>このアンケート結果では、多くの方が健康増進のためにスポーツを実施している。この意見に対して応えていくことが大切である。</p>
委員	<p>同意見である。いかに、機会を提供できるかが課題である。</p> <p>障害者理解の観点からも、車椅子に乗ってバスケットボールをするなど授業に取り入れることで、子どもの頃から車椅子が身近に感じることでできるようになる。</p>
委員	<p>海外の学校で車椅子利用者と健常者が一緒に体育の授業を受けている映像を見たことがあるが、こういった取り組みも進んでいくとよいと感じる。</p>
委員	<p>施設を利用している障害者の方に挨拶をするという取り組みをしてはどうだろうか。こうすることで、障害者の方も気持ちよく利用できるのではないだろうか。</p>
会長	<p>障害者も健常者も一緒、分け隔てなくという意識を広めていくことが大切である</p>
委員	<p>アンケート結果には、スポーツ・レクリエーションの実施の障壁について、交通手段の問題も挙げられている。車椅子利用者は、車移動の方が多いため、駐車場の確保が必要である。また、視覚障害者の方は公共交通機関での移動が多いと考えられる。金銭的に余裕がないという理由も道具が特注になってしまう点もあるかと思うが、移動手段でタクシーを利用せざるを得ないからといった理由もあるのではないだろうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p align="center"><b>障害者スポーツの現状について</b></p> <p align="center">・所沢市の現状</p>
事務局	資料を基に所沢市の現状（施設面・事業面）について説明した。
会長	所沢は、施設が充実していると思うが、利用していて感じていること等、何か意見はあるか。
委員	施設の借用について、健常者の利用が増えている中で、健常者と障害者が同じ場所でスポーツを行うことを進めるとさらに予約が取りにくくなるのが懸念される。
会長	平日利用を促進していくことが必要なのかもしれない。
委員	所沢サン・アビリティーズなどの施設について、入間市・狭山市・飯能市在住の方が使えるということは理解した。逆に所沢市在住者が、他市の施設も使用できることはどこかで紹介しているのか。例えば、所沢サン・アビリティーズは自宅から遠いけれど、入間市の施設であれば、自宅から近く、利用しやすいという方もいるのではないか。
事務局	所沢市・入間市・狭山市・飯能市の4市で「ダイアプラン」を組織し、スポーツ施設に限らず、各種公共施設の相互利用できるための協定を結んでいる。ホームページ等を通じて積極的にPRしているが、利用者の中には、知らない方もいるかもしれない。さらなるPRを進めていきたい。
会長	ホームページだけではなく、窓口等でも広報することで、広まっていくと思う。
委員	所沢市子どもと福祉の未来館では、体育館を効率的に運用するため、どの程度分割して貸し出しているのか。
事務局	体育館は、最小9分の1面から借用可能である。
委員	予約の方法について、詳しく説明いただきたい。登録団体が繰り返し利用してしまい、一般の方がなかなか利用できないという状況にならないか。
事務局	<p>障害者・障害者団体・ボランティア団体は、利用希望日の3ヶ月前の月の初日から優先予約が可能。一般利用者の予約開始は、利用希望日の1か月前の初日から予約が可能となっている。</p> <p>所沢市子どもと福祉の未来館は、障害者の方を優先的に考えて運営している施設である。また、中途障害者や障害の程度が高い方も外に出てもらいたい、そういったサークルを支援していきたいという考えがある。効率的な活用を考えるとやや劣るという点はあると思うが、まずは、1年間運営し、今後については検討していく余地があると思われる。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p><b>障害者スポーツの今後の取り組みについて</b></p> <p>市内小学校でのゴールボールの体験会について、障害者と健常者の共生を考えるのであれば、地域の方にもお知らせし、一緒に体験したり、外から見学したりすることはできないか。ゴールボールを通じて障害者と健常者の距離が縮まるようにということをテーマにするのであれば、ぜひ考えていただきたい。</p>
事務局	<p>いただいたご意見をプロジェクトチームに報告し、工夫しながら進めていきたい。</p>
会長	<p>健常者が体験していくことが、大切だと感じた。</p>
委員	<p>以前、車椅子に乗ってバスケットボールを体験したが、ゴールにボールが届かなかった。身体能力を高めるためにも基礎的な事が大切になってくると感じた。</p>
会長	<p>車椅子テニスを観戦したことがあるが、とても感動した。</p>
委員	<p>体験をすることは、とても大切である。車椅子を動かしながら、ラケットを操ったり、ボールをリングに入れたりすることは、大変な作業であると思う。</p>
会長	<p>ここにいる委員の皆様にもぜひ何かの機会に経験していただきたい。このことで、障害者の大変さがわかると思う。</p>
委員	<p>障害者スポーツに武道は、あるのか。</p>
委員	<p>視覚障害者の柔道を見たことがある。やり方を工夫すれば、武道をすることも可能であると思う。</p>
委員	<p>市として競技団体に対して、何かしらの働きかけはしているのか。</p>
事務局	<p>所沢市では、障害者差別解消について条例化の取り組みをしている。</p> <p>現在、パラリンピックの支援等を通じて、障害者の活動範囲を広めよう、気運を高めよう取り組みをしているが、ノーマライゼーションな街づくりに向け、市全体で方針を決め、取り組んでいくことになる。</p> <p>資源を有効活用し、各競技活性化しながら、障害者も参加できる街づくりにつなげていきたいという願いがある。今後、関係団体には、支援要請していくことになると考えている。</p>
委員	<p>かつて、男性中心だったスポーツに女性が進出を果たした。この流れの延長に障害者へのスポーツ振興があると思う。</p>
事務局	<p>昭和50年代には、市内の体育館で車椅子の方がバスケットを楽しむ姿が見られたと記憶している。今では、簡単なニュースポーツが生まれており、市内の高齢者の介護保険サービス事業者でも取り入れられるなどして、じわじわと広まっていくのではないかと思う。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p><b>(2) 報告事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回所沢市陸上競技選手権大会について</li> <li>・第27回所沢シティマラソン大会について</li> </ul> <p>事務局から報告を行った。</p>
会長	質問や意見等はあるか。
委員	<p>先日、マラソンの競技人口が微減となったというニュース記事を目にした。一方、全国のマラソン大会は、年々増えているため、ランナーの取り合いが起こっており、中止となる大会が出てきているようだ。</p> <p>積極的に所沢シティマラソン大会の強みをアピールし、同時期の大会と競合しているという危機意識を持ち、運営していかなければならない。</p>
事務局	今後も特色あるマラソン大会としてアピールしていきたい。
会長	役員は、延べ何名いるのか。
事務局	警察官を含め、1,000名を超える方がボランティアとして参加している。
委員	障害者の方の参加人数は、何名程度いるのか。
事務局	障害者である旨を申告していただけていないため、把握していない。
委員	ランナーには、エントリーサイトの口コミや大会の評価などを参考にし、参加する大会を選ぶ傾向がある。ダイレクトな声載っていると思うので、ぜひ参考にしていきたい。
事務局	事務局でも、口コミ等は確認している。今後もランナーの声を反映した大会を開催していく所存である。
事務局	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度スポーツ大賞表彰式について</li> </ul>
事務局	平成29年3月4日(土)に、所沢市民体育館サブアリーナにて平成28年度スポーツ大賞の表彰式を開催する。出席をお願いしたい。
会長	議事については、以上である。進行を事務局戻す。
事務局	<p>次回会議は、3月下旬を予定している。</p> <p>副会長によるあいさつにより、閉会した。</p>